

# アセットマネジメント部門

## 30市町村とともに築き上げた半世紀 —東京都流域下水道

東京都下水道局

- 流域下水道本部の前身である多摩川流域下水道建設事務所を設置してから今年で50周年
- 都と30市町村が連携して下水道整備を進めた結果、多摩地域の下水道普及率が99%を超えるまで向上
- 普及率の向上に伴い、多摩地域の水環境は大幅に改善し、多摩川では毎年数百万尾のアユが遡上

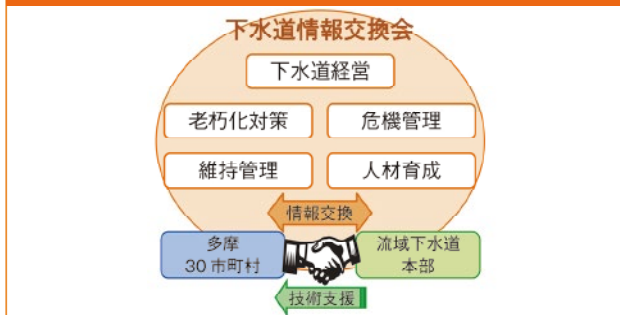
### 単独処理区の編入



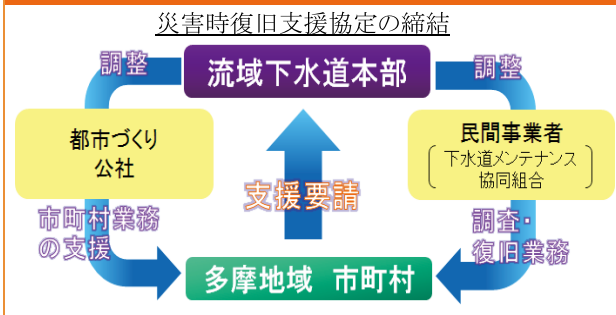
### 水質検査の共同実施等



### 技術支援・人材育成支援



### 危機管理体制の強化



### PRポイント!

流域下水道は、二つ以上の市町村から出る下水を集めて処理する仕組みであり、広域化・共同化の先駆けと言えます。

都と多摩30市町村の連携事業一つひとつについて、「下水道情報交換会」等を通じて綿密に検討・調整するとともに、都と市町村が直接対話を重ねることで合意形成を図ることができました。

### 取組の効果!

本頁で紹介する4事例のほか、排水設備工事責任技術者資格試験の共同実施、流域・公共両下水道台帳の統一化、メールマガジンの配信など、市町村と都の連携はますます強くなっています。

施設の老朽化や職員の減少、維持管理費の増加等の厳しい環境に巻き込まれても、これまで築き上げた強固な連携によって乗り越えることができます。

### Key Person



流域下水道本部技術部  
計画課長 秋山 真

下水道の普及が進んだ今では“あって当たり前”のものになっていますが、国土交通省（当時は建設省）のご理解とご協力を得て50年前から取り組んできたからこそ、ここまで築き上げることができました。

流域下水道本部は50周年を都市づくりの大きな流れの中の一通過点として捉えています。次の50年先を見据え、市町村との連携を一層深めて、多摩地域の更なる発展に貢献していきます。